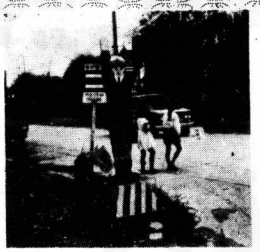
広報 たかのす

発行所　鷹巣町役場町長室
電話（代）550番　直通42番
（発行部数　5,850部）
印刷所　成文社印刷所

なくそう交通事故

秋の交通安全運動
＝9月25日～10月4日＝

■交通三悪追放
■正しい歩行



一瞬にして尊い命さえ奪う交通事故。ことしになつて、事故は減つているとはいえ、この半年間（1月～6月）に、県下で12人がかけがえのない命を失い316人の重軽傷者を出しています。

秋の交通安全運動が9月の25日から10月4日まで、全国に展開されます。これを機会に、いつそうひきしめて、歩行者も運転者も交通のルールをよく守り恐しい交通事故を防止しよう。

正しい歩行、安全運転をことしの安全運動ではとくに歩行者の交通事故絶滅を目標とし

① 安全な横断
② 自動二輪、原動機付自転車の安全運転
③ 安全な踏切通行
④ 自動車の安全運転管理と運行管理体制の確保
⑤ 車輌の完全整備
⑥ 道路交通環境の整備改善

（写真……横断歩道を安全旗を持つて歩行、職安前で）

国勢調査 ② 解説

〈調査のしくみ〉

国勢調査では、人口をもれなく重複なく調査するため、全国にわたつて約49万人の国勢調査員が、全人口は世帯主が記入し、就業状態、仕事の種類などは調査員が質問のうえ記入して調査するのが国勢調査の特色の一つであります。

調査員は10月1日の1週間前（9月24日から30日までの間）から、受持つ調査区の各世帯に「調査票」をくばり、各世帯から申告すべき世帯員を確認し、記入を依頼します。調査票は、世帯ごとに作成する世帯表様式で、記入は世帯主が行なうことにしています。世帯で記入することとしたのは、戦後の国勢調査では今回が初めてです。たとえば前回の国勢調査では、出生の年月日、配偶者の関係などは世帯主が記入し、就業状態、仕事の種類などは調査員が質問のうえ記入していた。このために今回の調査では、調査票記入の仕方が世帯主に徹底するよう調査票の記入例も各世帯に配布することとしています。各世帯で記入した調査票は、10月1日から3日までの間に、調査員が取り集めます。調査票は、検査したのち、この調査票から「調査個票」というカードを作ります。

〈集計の方法〉

今回の国勢調査では、市町村に集められ、そこで審査された後、都道府県を通じて総理府統計局に早く集計するため、初めて「光学式読取り装置」という最近の機械を用います。この機械は鉛筆でマークされた個票の内容を磁気テープに高速度で記録するもので、このテープが電子計算機にかけられます。これによつて市区町村別結果は、いままで40カ月から20カ月に短縮されます。

調査員が作った調査書類は、市町村別結果をできるだけ区町村別の男女別人口および世帯数の概数が本年12月中に公表され、ついで41年5月末までにその確定数が官報に告示されます。

〈結果の利用〉

まず、最初に公表されるのは、全国・都道府県・市区町村別の男女別人口および世帯数の概数が本年12月中に公表され、ついで41年5月末までにその確定数が官報に告示されます。

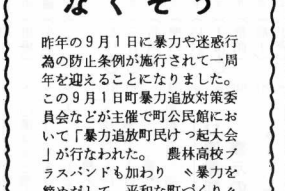
市区町村についての令・産業・職業別などの結果は、都道府県ごとの報告書にまとめられ、41年4月ごろから順次刊行され、42年の中ごろまでにその刊行を終る予定です。

全国についての速報集計の結果は、41年11月ごろに公表されます。なお、このほか都道府県・都市別などのくわしい結果も報告書として刊行されます。

〈調査の際にはご協力を〉

国勢調査は、九千八百万の人口を、全国いせいに調査するという大規模な調査です。この調査を完全に実施するために、みなさんのご理解とご協力がぜひ必要です。きたる10月1日を期して行なわれる国勢調査では、もれなく調査票にご記入くださるようお願いします。

各家庭には、9月24日から30日までの間に調査員がおうかがいしますが、国勢調査員がおうかがいしますが、国勢調査員様のご協力をお願いします。



愛の血液助け合い運動

9月21日「あかつき号」来町

ことしも九月一日から愛の血液助け合い運動が行なわれています。

買血方式により〃黄色い血〃汚れた血〃を追放し、献血による採血を推進するため「愛の血液助け合い運動」にご協力くださるようお願いします。

血液の需要は、戦後めざましい進歩をとげた医学、とくに外科手術の分野において大量に要求されるようになりました。秋田県においても年間三万本（一本二〇〇cc）以上を必要としてきましたが、そのほとんどが、固定化した供血者（貧血症状になる）によつてまかなわれてきたため、多くの受血者〃黄色い血〃による副作用といわれる「血清肝炎」に悩んでおります。

このような弊害を防ぐため、きれいな血液を常に貯えておき、必要に応じてただちに供給できる制度、組織が要望され、昨年十二月発足したのが、「秋田県赤十字血液センター」（秋田県市上中城町四ノ一　秋田県立中央病院内）です。

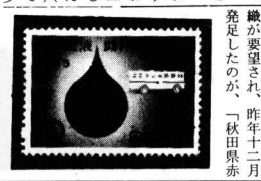
このセンターに協力し、〃県民の生命を県民の血液で守ろう〃と秋田県献血推進協議会が発足しました。

本町でも昨年二月、鷹巣町献血推進協議会が結成され、善意のひとびとによつて、多くの血液が提供されておりますが、まだ〃黄色い血〃を全面的に追放するまでに至つておりません。

これは、献血の趣旨はじゅうぶんに分つていながら、「採血によつて障害があるのではないか」というであろう人が多いのではないかと見られています。採血のばあいは場合は厳重な身体検査をして基準にかなつた健康な人だけに献血をお願いするのですから、この機会にじゅうぶん理解してほしいものです。

七月に引続き、県センターの移動採血車「あかつき号」が、来る九月二十一日（火）に来町し、愛の献血をお願いします。

申込み、その他不明な点がありましたら町献血推進協議会（鷹巣町役場保険衛生課内・電話五〇番）に連絡ください。町内、職場、学校などで二十名以上の献血希望があれば、巡回して血液斑判定・採血などを行ないます。



鷹巣大町一丁目納組 知事表彰

八月二十九日、第一回「県の記念日」で県税納入に功績があつた納税貯蓄組合の団体に知事表彰があり、鷹巣大町一丁目納税貯蓄組合（組合長佐藤栄三郎氏）が優良組合として表彰されました。

九月の稲作管理

適期刈取りについて

今年の稲作もいよいよ最終段階に入りました。

出穂後の天候がさいわいして、心配された作況も、やや平年並にこぎつけております。

しかし早冷が予想されておりますので、適期に刈り取ることが、収量を決定づける大きな要素となつて来ました。又今年は乾燥にも注意を要する年だと思われます。

圃場全体の稲の八～九割のほどと予想される日本の全人口を、全国いせいにもれなく調査する大規模な調査です。この調査を完全に実施するために、みなさんのご協力がぜひ必要です。きたる10月一日を期して行なわれる国勢調査では、もれなく調査票にご記入くださるようお願いします。

各家庭には、9月24日から30日までの間に調査員がおうかがいしますが、国勢調査員様のご協力をお願いします。

暴力や迷惑行為をなくそう

昨年の9月1日に暴力や迷惑行為の防止条例が施行されて一周年を迎えることになりました。この9月1日町暴力追放対策委員会などが主催で町公民館において「暴力追放町民けつ起大会」が行なわれた。　農林高校ブラスバンドも加わり〃暴力を締めだして、平和な町づくり〃などの看板にした宣伝車を繰出し、町内をパレードした。

加賀谷さん二位に

全県少年防犯弁論大会

県防犯組合連合会、県警察本部主催の第四回全県少年防犯弁論大会は、八月二十八日秋田市で開かれ、全県の選出された十七人の代表から、鷹巣中学校三年加賀谷悦子さんが二位に選ばれました。

NHK相談室をご利用ください

「NHK相談室」が開設されました。

この「NHK相談室」ではNHKの放送番組、受信契約、料金事務、受信障害経営一般その他に対する照会やご意見をうけたまわり苦情などについて回答いたします。

NHK相談室はみなさんに対するサービスの窓口です。

みなさんのご利用をお待ちしています。

「NHK相談室」は秋田市山王一丁目一の二NHK秋田放送局（TEL ③ 5411）

し尿処理場地鎮祭と起工式

二十四日に

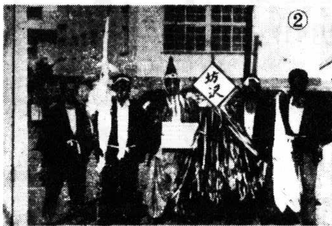
鷹巣町外三カ町村衛生施設一部事務組合で建設するし尿処理場の地鎮祭と起工式が九月二十四日行なわれます。

地鎮祭は午前十時から建設現場で、起工式は引続き午前十二時から鷹巣町役場会議室で関係者と来賓を招いて盛大に行なわれます。

役場日誌 ⑦〈8月〉

2日　農業構造改善事業打合会、政務助役・土木課長上京
3日　町長・事務助役＝秋田市へ
5日　酪農学校出張教育
80日　酪農打合会
11日　例月監査、町遺族会長会議、し尿処理委員および地区関係者協議会
13日　町民体育祭打合会
16日　農業委員会
18日　事務助役・建設委員会視察
20日　内職相談室、民生委員会定例会、林道入札
21日　農業共済組合役員会
23日　町長上京
24日　林業労働調査説明会
25日　国保運営委員会
28日　教育委員会監査
一部事務組合臨時議会
30日　中央公園運営委員会

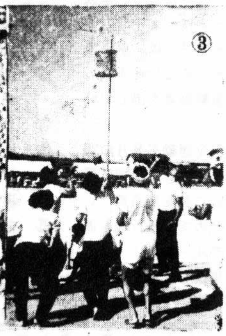
第3回町民体育祭 盛会に終る



②

①

④



③

⑤

全町民が一堂に介して行なわれる、第三回町民体育祭は、八月二十九日町営グランドで開催され、残暑の炎天下に〃スポーツを楽しむ〃一日町民体育デーといった競技の熱戦がくりひろげられました。

ことしから、全町八地区対抗とあって多種多様のプログラムが組まれて、地域・家庭ぐるみの応援が、スポーツの町、社会体育モデル地域指定の第一年目の意義あるスタートをふみだしたといえます。

開会式は午前八時四十分四方にこだまするノロシを合図に、鷹小鼓笛隊、鷹中ブラスバンド、バトンガールズを先頭に国旗、町旗が続き、プラカードを持っ女た子生徒を先導に、役員団、スポーツ少年団、ボーイスカウト、消防団、七座、坊沢、綴子、沢口、七日市、栄、鷹巣北、鷹巣南連合青年会の順に約千名の選手がグランドを一周した。

長崎大会委員長の大会宣言に続き国旗、町旗がひんぽんと掲揚されるうちに、若い力が斉唱され、前年の優勝杯が返還された。

成田大会会長から、町民の総力をスポーツの輪によって応げようというあいさつ、来賓の祝辞、三沢審判長から競技上の注意があり選手を代表して女子選手の選手宣誓のもとに競技に移った。

気温は三十度を越すなかで、ことしから応援団にも賞がでるとあって、暑さにもめげず選手に応援、中学校、青年、壮年、婦人の百米では現代っ子も昔の少年もテープをめさして最初から、トップキヤ。

河田杯マラソンも中・高一般と仲良く一諸にスタート。たばこリレー、びんつり競争、たわらかつぎリレー、玉入競争、二人三脚の遊種目は審判員も判定にタジタジ。各種リレーも盛りたくさん、白熱戦のリレー競には、各地区の人達が総立ちしてガンバレ、ガンバレの声援。

消防団の操法訓練の公開には緊張したおもむき、農林高校、中学校生徒によるマスゲームはキビキビした躍動あるし体に拍手がおくられた。大会の花である婦人会員六百余名のひでこ節、昭和音頭のマスゲームは大会前の猛練習が実ってイキがぴったり、四方からあでやかなユカタ着の民謡踊には万場を魅了した。

優勝をきめる青年男子の八百米リレーで競技を結んだ。大会は西日射すなかでグランドに選手、観集約三千人の町発展を願う、万歳三唱で午後四時半過ぎ幕をおろした。

▽総合成績
①七日市②坊沢③鷹巣南④鷹巣北⑤沢口⑥七座⑦栄⑧綴子

▽リレー
青年会男子①鷹巣北②坊沢③鷹巣南　同女子①七日市②栄③鷹巣南　婦人会①坊沢②沢口③綴子　壮年①鷹巣南②七日市③坊沢　中学校総合①鷹巣北②七日市③沢口

▽応援賞①坊沢②七座③綴子▽百m選権男子　小林俊英（綴子）女子長岐幸子（七日市）

▽マラソン一般　津谷徳三郎（坊沢）高校の部　山本敏昭（農林）中学校の部　仲村光則

「写真説明」 ①総合優勝・七日市チームには王冠と鷹を描いた初の優勝旗　②準優勝に大きな原動力となって，応援賞一位の坊沢勇士　③簡単なことでも気が合わないとストライクにならないたま入れ競争　④秋田国体からひき続き婦人会に根をおろした民謡踊のマスゲーム　⑤選手の職種も雑多な力自慢のたわら（60kg）かつぎ競争

にぎわった 乳牛共励会 犢品評会

第七回乳牛飼養管理共励会、第五回犢（和牛）品評会は、八月二十四日鷹巣家畜市場で開かれました。

乳牛部門の未経産の部で沢口・川口、中島升悦さんが飼養しているチャンピオン・メイフラワーアイリス号が優等賞を獲得した。

入賞した乳牛、犢の受賞者は次のとおりです。

〔乳牛未経産の部〕
▽優等勝　中島升悦(沢口)
▽一等賞　久留島利四蔵（鷹巣）三沢已之助(綴子)
▽二等賞　佐藤正（綴子）成田長吉（鷹巣）福田光政（沢口）
▽三等賞　岩本長右ェ門（七日市）小塚博義（沢口）米沢勝美（綴子）太田見正次郎（沢口）大坂秀吉（七日市）

〔乳牛経産の部〕
▽優等賞　細田敏明(綴子)
▽一等賞　三沢憲一（綴子）藤島芳男（綴子）
▽二等賞　小塚吉美(沢口)岩本藤一郎（七日市）細田与七(七日市)
▽三等賞　佐藤宇一郎（沢口）、佐藤勘四郎(綴子)岩本藤一郎(七日市)、米沢敬福（綴子）、佐藤宇一郎（綴子）、成田正蔵（七日市）、古家達男（綴子）

〔犢の部〕
▽一等賞　九島伊一郎（七日市）
▽二等賞　中島鶴治(沢口)千葉良吉（沢口）
▽三等賞　佐藤多四郎（綴子）、本城新一郎（沢口）小松秀雄（綴子）

長生きを楽しむ ことしの敬老会

九月十五日の〃としよりの日〃を中心に、町内十二学区ごとに敬老会が開催されました。

ことしの町内の七十才以上の老人は、男三百八十五人、女五百二十四人、計九百九人です。ことし八十才（明治十八年生）になった男二十五人には鳩杖、八十才以上の人には町から座布団八十八才以上（七人）の人には県知事から記念品が贈られた。

町内で最高齢者は、山城ナヲ(七日市)さん、九十一才、明治八年生です。

また、厚生省が七月二十一日、三十九年十月一日現在の人口をもとに発表した平均寿命によりますと、男は六七・六七才、女は七二・八七才。前年に比べて男は〇・五才、女は〇・六才伸びています。

次に町内の高齢者、男八十三才、女八十五才までの人々を紹介します。

長寿おめでとう

男

三沢　佐七	（大堤）	90
日下部初五郎	（掛泥）	89
佐藤　常吉	（坊沢）	88
鈴木寅之助	（上舟木）	〃
三沢　元	（田中）	87
赤松　富司	（西横町）	85
長岐　要吉	（中畑）	〃
津谷　泰司	（坊沢）	84
花田　捨松	（脇神）	〃
簾内　米吉	（今泉）	〃
河田　喜市	（三吉町）	83
津谷　山吉	（旭町）	〃
伊藤　堅治	（新松葉町）	〃
中島　宇吉	（川口）	〃
佐藤　嘉市	（舟場）	〃
中林　藤蔵	（小森）	〃
佐藤　孫吉	（〃）	〃

女

山城　ナヲ	（七日市）	91
沢田　ミネ	（三吉町）	90
布田　ハナ	（品類）	〃
碇谷　ヱツ	（摩当）	89
津谷　タキ	（坊沢）	〃
藤原　シマ	（下舟木）	〃
長谷川サダ	（掛泥）	88
高橋　タカ	（綴子）	87
間淵　スヱ	（小森）	〃
長崎　チキ	（坊沢）	〃
戸沢　トヨ	（前山）	〃
桜庭　ヱツ	（蟹沢）	〃
松尾　リヨ	（太田）	86
秩父　ヌイ	（綴子）	〃
河田　キサ	（三吉町）	85
斎藤スオノ	（住吉町）	〃
佐藤　トモ	（小森）	〃
中島　スヱ	（川口）	〃
佐藤　タケ	（妹尾館）	〃
佐藤　チキ	（横淵）	〃
小笠原イワ	（綴子大畑）	〃

子宮ガン・婦人病の無料巡回集団検診

このたび、町では北秋中央病院の協力を得て、子宮ガンとその他の婦人病をなくすため、子宮ガンの無料集団検診を九月中旬実施することになりました。

婦人科の病気が一般に手おくれがちなのは、婦人科の病気について婦人が、案外その知識を持たないことによるといわれておりますなどで、家中が暗く陰気になりがちです。ことに家庭の中心であるお母さんが病気になったら、それこそ大変です。

検診日程、実施場所などくわしいことについては、もよりの婦人会をとおしてお知らせしますので、この機会に、婦人病を町から一掃するために、一人でも多く受診するよう、おすすめします。家の中に病人が一人でもいると、心配や経済的な若痛

収穫期をねらうサギにご用心

冷害ムードの中で心配されたことしの稲作も、天候に恵まれてようやく持ち直り、米の国秋田にふさわしい収穫が期待できそうです。さて、この収穫期をねらって農家のみなさんから金品をだましとるサギが横行してまいります。

一口にサギといっても、農家がねらわれるのにインチキな商品の品質、数量産地、製造先等を偽り、買気をあおって売りつける的屋サギです。

○うますぎる話にはかならずワナがあること。

○欲ばると損をすること。

などをもう一度心にきざみこみましょう。

この心構えがあれば、サギはきっと防げます。

被害をうけたと気づいたら、すぐ警察(駐在所)、防犯組合員へ届けてください

▽速達郵便物の表示の簡素化

いままで、速達郵便物には、その表面の見やすいところに「速達」と朱記するか、また表面の右上部に朱色の横線を表示しなければならないことになっていた最近では、朱色の横線によって表示するものが、八〇%近くなっているので「速達」の表示をやめて、朱色の横線（通常郵便物で横の長いものには、右側部に朱色の縦線）で表示することに統一されました。

収穫の秋てす！
納税にご協力下さい